

# 山口県教員採用試験

## 教職専門

令和6年度(2023年実施)

\* 解答は、すべて「解答用紙」に記入すること。

1 次の法令について、下の(1)～(4)の各問いに答えよ。[(1) 2点、その他各1点]

**日本国憲法**  
第19条 思想及び（ ① ）の自由は、これを侵してはならない。

**教育基本法**  
第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と（ ② ）を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

**学校教育法施行規則**  
第24条 校長は、その学校に在学する児童等の（ ③ ）（学校教育法施行令第31条に規定する児童等の学習及び健康の状況を記録した書類の原本をいう。以下同じ。）を作成しなければならない。

**法令A**  
第7条 国民は、基本理念にのっとり、こども施策について関心と理解を深めるとともに、国又は地方公共団体が実施するこども施策に協力するよう努めるものとする。

(1) 日本国憲法について、（ ① ）に入る適切な語句を答えよ。

(2) 教育基本法について、（ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 責任 | 2 立場 | 3 義務 | 4 使命 |
|----|------|------|------|------|

(3) 学校教育法施行規則について、（ ③ ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |           |           |       |        |
|----|-----------|-----------|-------|--------|
| 語群 | 1 個別の指導計画 | 2 個別の支援計画 | 3 学齢簿 | 4 指導要録 |
|----|-----------|-----------|-------|--------|

(4) 法令Aに該当する法令名を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |                     |          |
|----|---------------------|----------|
| 語群 | 1 子どもの貧困対策の推進に関する法律 | 2 児童福祉法  |
|    | 3 子ども・子育て支援法        | 4 こども基本法 |

2 次の法令について、下の(1)～(4)の各問いに答えよ。[(3) 2点、その他各1点]

**学校教育法施行令**  
第29条 公立の学校（大学を除く。以下この条において同じ。）の学期並びに夏季、冬季、学年末、農繁期等における休業日又は家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日（次項において「体験的な学習活動等休業日」という。）は、市町村又は都道府県の設置する学校にあつては当該市町村又は都道府県の（ ① ）が、公立大学法人の設置する学校にあつては当該公立大学法人の理事長が定める。

**学校保健安全法**  
第7条 学校には、健康診断、（ ② ）、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。

**地方公務員法**  
第34条 職員は、（ ③ ）知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

**教育公務員特例法**  
第21条 教育公務員は、その（ ④ ）を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

(1) 学校教育法施行令について、（ ① ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |        |       |         |
|----|------|--------|-------|---------|
| 語群 | 1 首長 | 2 首長部局 | 3 教育長 | 4 教育委員会 |
|----|------|--------|-------|---------|

(2) 学校保健安全法について、（ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |        |        |        |         |
|----|--------|--------|--------|---------|
| 語群 | 1 予防接種 | 2 衛生管理 | 3 健康相談 | 4 感染症対策 |
|----|--------|--------|--------|---------|

(3) 地方公務員法について、（ ③ ）に入る適切な語句を答えよ。

(4) 教育公務員特例法について、（ ④ ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 責務 | 2 業務 | 3 職責 | 4 責任 |
|----|------|------|------|------|

3 以下の(1)～(4)の各問いに答えよ。[(1)(4)各2点、その他各1点]

(1) 次の文は、ある人物について説明したものである。この人物は誰か、答えよ。

ドイツ・チューリンゲン出身で、1782年に生まれた。教師となり、ペスタロッチの指導を受けた。「一般ドイツ教育舎」を開設して本格的な教育活動を始め、1826年には主著『人間教育』を著した。その後、幼児教育遊具を考案し、それを活用・普及するための保育者養成施設と、その実習施設として「遊戯・作業園」を開設した。1840年にこれらの施設を統合して「普遍ドイツ的キンダーガルテン（一般ドイツキンダーガルテン）」を開設した。これがやがて「幼稚園」として世界的に普及することになった。

(2) 次の文は、「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」（文部科学省、令和3年3月）の一部である。下のア～ウの各問いに答えよ。

学習指導要領では「何を学ぶか」という教育の内容を重視しつつ、児童生徒がその内容を既得の知識及び技能と関連付けながら深く理解し、他の学習や生活の場面でも活用できる、生きて働く知識となることを含め、その内容を学ぶことで児童生徒が「（ ① ）」を併せて重視しています。このため、各教科等の指導を通して育成する資質・能力を明確にする重要性を上記のとおり示すとともに、各教科等の目標や内容も、② 資質・能力の三つの柱 で再整理して示しています。これにより、経験年数の短い教師であっても、各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力を確実に捉えられるようにするとともに、教科等横断的な視点で教育課程を編成・実施できるようにすること、さらには、学校教育を通してどのような力を育むのかということを社会と共有することを目指しています。

（中略）

（ ③ ）は、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、産業界等と連携し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく高度な内容となるものであることから、高等学校における教科等横断的な学習の中で重点的に取り組むべきものですが、その土台として、幼児期からのものづくり体験や科学的な体験の充実、小学校、中学校での各教科等や総合的な学習の時間における教科等横断的な学習や探究的な学習、プログラミング教育などの充実に努めることも重要です。さらに、小学校、中学校においても、児童生徒の学習の状況によっては、例えば総合的な学習の時間における児童生徒の課題解決の姿をイメージしながら、教科等横断的な学習の中で（ ③ ）に取り組むことも考えられます。その際、発達の段階に応じて、児童生徒の興味・関心等を生かし、教師が一人一人に応じた学習活動を課すことで、児童生徒自身が主体的に学習テーマや探究方法等を設定することが重要です。

ア （ ① ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |               |           |
|----|---------------|-----------|
| 語群 | 1 何をするべきか     | 2 何ができるのか |
|    | 3 何ができるようになるか | 4 何を習得したか |

イ 下線部② 資質・能力の三つの柱 について、「知識及び技能」の習得以外の二つの柱の組み合わせとして正しいものを次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |  |
|----|--|
| 語群 | 1 「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養  |
|    | 2 「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学ぼうとする意思、人間性等」の涵養 |
|    | 3 「思考力、判断力、実行力等」の育成、「学ぼうとする意思、人間性等」の涵養 |
|    | 4 「思考力、判断力、実行力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養  |

ウ （ ③ ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |                 |              |
|----|-----------------|--------------|
| 語群 | 1 カリキュラム・マネジメント | 2 GIGAスクール構想 |
|    | 3 ICT活用教育       | 4 STEAM教育    |

(3) 次のア～ウの文に最も関連の深い語句を下の語群からそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア キャッテルの提唱した2種類の知能のうち、教育や経験を通して獲得された知能。

|    |         |         |         |         |
|----|---------|---------|---------|---------|
| 語群 | 1 流動性知能 | 2 内省的知能 | 3 情動的知能 | 4 結晶性知能 |
|----|---------|---------|---------|---------|

イ 測定したい特性が正規分布曲線に従うという仮定に基づいて評価を行う方法。集団内での位置を示す指標としてz得点や偏差値が使用される。

|    |             |             |
|----|-------------|-------------|
| 語群 | 1 絶対評価      | 2 相対評価      |
|    | 3 ポートフォリオ評価 | 4 パフォーマンス評価 |

ウ オペラント条件づけにおける強化と罰の一つであり、刺激の除去によって反応が増加すること。その代表例として、逃避行動や回避行動の増加や維持があげられる。

|    |        |       |        |       |
|----|--------|-------|--------|-------|
| 語群 | 1 正の強化 | 2 正の罰 | 3 負の強化 | 4 負の罰 |
|----|--------|-------|--------|-------|

(4) 次の文は、ある人物について説明したものである。この人物は誰か、答えよ。

発達や学習は文化の体现者である大人との協同行為を通して行われると考え、この協同行為としての学習過程を「発達の最近接領域」により説明した。

4 以下の(1)～(4)の各問いに答えよ。[(1)ア(3)ア各2点、その他各1点]

(1) 次の文は、いじめ防止対策推進法の条文である。下のア、イの各問いに答えよ。

いじめ防止対策推進法

第2条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の（ ① ）を感じているものをいう。

第15条 学校の設置者及びその設置する学校は、児童等の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う（ ② ）の能力の素地を養うことがいじめの防止に資することを踏まえ、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図らなければならない。

- ア （ ① ）に入る適切な語句を答えよ。
- イ （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |        |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 語群 | 1 友人交流 | 2 対人交流 | 3 友人交際 | 4 対人交際 |
|----|--------|--------|--------|--------|

(2) 次の文は、令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

生徒指導は、児童生徒が自身を（ ① ）として認め、自己に内在しているよさや可能性に自ら気づき、引き出し、伸ばすと同時に、社会生活で必要となる社会的資質・能力を身に付けることを支える働き（機能）です。したがって、生徒指導は学校の教育目標を達成する上で重要な機能を果たすものであり、学習指導と並んで学校教育において重要な意義を持つものと言えます。

（中略）

生徒指導の目的は、教育課程の内外を問わず、学校が提供する全ての教育活動の中で児童生徒の（ ② ）され、個性の発見とよさや可能性の伸長を児童生徒自らが図りながら、多様な社会的資質・能力を獲得し、自らの資質・能力を適切に行使して自己実現を果たすべく、自己の幸福と社会の発展を児童生徒自らが追求することを支えるところに求められます。

ア （ ① ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |             |         |
|----|-------------|---------|
| 語群 | 1 唯一無二の存在   | 2 普遍的存在 |
|    | 3 かけがえのない存在 | 4 個性的存在 |

イ （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |         |         |         |         |
|----|---------|---------|---------|---------|
| 語群 | 1 人格が尊重 | 2 人権が尊重 | 3 人格が配慮 | 4 人権が配慮 |
|----|---------|---------|---------|---------|

(3) 次の文は、「学校安全資料『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」（文部科学省、平成31年3月）の「学校安全の定義」の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

学校安全は、学校保健、（ ① ）とともに学校健康教育の3領域の1つであり、それぞれが独自の機能を担いつつ、相互に関連を図りながら、児童生徒等の健康や安全を確保するとともに、生涯にわたり、自らの心身の健康を育み、安全を確保することのできる基礎的な素養を育成していくために一体的に取り組まれている。

学校安全のねらいは、児童生徒等が、自他の（ ② ）を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成するとともに、児童生徒等の安全を確保するための環境を整えることである。

- ア （ ① ）に入る適切な語句を答えよ。
- イ （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |        |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 語群 | 1 危機管理 | 2 生命尊重 | 3 安全確認 | 4 生存意欲 |
|----|--------|--------|--------|--------|

(4) 次の文は「第3次学校安全の推進に関する計画」（文部科学省、令和4年3月）の「2. 施策の基本的な方向性」の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

これまでの取組や課題を踏まえ、第3次計画期間において取り組むべき施策の基本的な方向性は以下のとおりとする。

☐ 学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルを構築し、学校安全の実効性を高める

☐ 地域の多様な主体と密接に連携・協働し、（ ① ）の視点を加えた安全対策を推進する

☐ 全ての学校における実践的・実効的な安全教育を推進する

☐ 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施する

☐ 事故情報や学校の取組状況などデータを活用し学校安全を「（ ② ）化」する

☐ 学校安全に関する意識の向上を図る（学校における安全文化の醸成）

ア （ ① ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |       |      |
|----|------|------|-------|------|
| 語群 | 1 地域 | 2 学校 | 3 保護者 | 4 子供 |
|----|------|------|-------|------|

イ （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |       |      |      |        |
|----|-------|------|------|--------|
| 語群 | 1 見える | 2 多様 | 3 意識 | 4 デジタル |
|----|-------|------|------|--------|



5 以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。[各1点]

(1) 次の文は、**学校教育法**の条文である。下のア、イの各問いに答えよ。

学校教育法  
第72条 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による ( ① ) 上又は生活上の困難を克服し ( ② ) を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

ア ( ① ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 発達 | 2 学習 | 3 社会 | 4 運動 |
|----|------|------|------|------|

イ ( ② ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 自活 | 2 独立 | 3 自立 | 4 自営 |
|----|------|------|------|------|

(2) 次の文は、令和4年に改正された**障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律**の条文である。下のア、イの各問いに答えよ。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律  
第7条  
2 行政機関等は、その事務又は事業を行うに当たり、障害者から現に ( ① ) の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、( ① ) の除去の実施について必要かつ ( ② ) をしなければならない。

ア ( ① ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |         |         |         |         |
|----|---------|---------|---------|---------|
| 語群 | 1 社会的困難 | 2 社会的不安 | 3 社会的障壁 | 4 心身の負荷 |
|----|---------|---------|---------|---------|

イ ( ② ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |          |          |          |          |
|----|----------|----------|----------|----------|
| 語群 | 1 支援的な配慮 | 2 支援的な対応 | 3 合理的な対応 | 4 合理的な配慮 |
|----|----------|----------|----------|----------|

(3) 文部科学省は、平成29年3月に公表した「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン」において、各学校に対して特別支援教育に関する委員会(校内委員会)の設置を求めるとともに、その役割を定めている。この校内委員会の役割として適切でないものはどれか。次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |                  |                 |
|----|------------------|-----------------|
| 語群 | 1 児童等の障害の有無の判断   | 2 児童等の教育的ニーズの把握 |
|    | 3 児童等に対する支援内容の検討 | 4 校内研修計画の企画・立案  |

6 次の文は、「**学校と地域で育む男女共同参画・指導の手引き**」(文部科学省、平成24年)の一部である。下の(1)～(3)の各問いに答えよ。[(2)2点、その他各1点]

男女共同参画に関する取組は、各教科等の授業のみならず、学校での教育課程内外の様々な活動を通じて行うことが重要である。  
また、( ① ) 性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)は、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されてきており、女性と男性のいずれにも存在すると指摘されている。この点を踏まえ、男女共同参画に係る教育を行うにあたっては、学校の様々な活動において、( ① ) 性別役割分担意識や無意識の思い込みに基づく言動、ルール等がないか振り返り、児童生徒が性別にかかわらず互いの個性や能力を ( ② ) できる環境となるように意識することが大切である。特に、そうした性別役割分担意識については、( ③ ) による変化があることにも留意が必要である。

(1) ( ① ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |        |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 語群 | 1 伝統的な | 2 慣習上の | 3 生活上の | 4 固定的な |
|----|--------|--------|--------|--------|

(2) ( ② ) に入る適切な語句を答えよ。

(3) ( ③ ) に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 地域 | 2 世代 | 3 家庭 | 4 職業 |
|----|------|------|------|------|

7 次の文は、**人権に関する法令**の条文である。下の(1)、(2)の各問いに答えよ。[各1点]

日本国憲法

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の（ ① ）に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

第3条 国及び地方公共団体が行う人権教育及び人権啓発は、学校、地域、家庭、職域その他の様々な場を通じて、国民が、その発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを（ ② ）することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法の採用、国民の自主性の尊重及び実施機関の中立性の確保を旨として行われなければならない。

- (1) （ ① ）に入る適切な語句を答えよ。
- (2) （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 語群 | 1 習得 | 2 体得 | 3 実践 | 4 実感 |
|----|------|------|------|------|

8 以下の(1)～(6)の各問いに答えよ。[(1)(2)(5)各2点、その他各1点]

- (1) 次の文は、山口県の教育についてである。（ ）に入る適切な語句を答えよ。

山口県教育委員会では、平成30年10月に5年間の本県教育の指針となる「山口県教育振興基本計画」を新たに策定しました。この計画では、前計画の教育目標「未来を拓く（ ）『やまぐちっ子』の育成」を継承し、これからの複雑で予測が困難な時代にあって、子どもたちが社会の変化に対応しながら、主体的に未来を切り拓く力の育成に向けて、本県の教育課題に的確に対応した諸施策を総合的・計画的に推進しています。

こうした取組をより確かなものとし、本県教育の一層の質の向上を図るためには、県教育委員会、市町教育委員会と学校が今年度の主な取組内容を共有し、一体となって取り組む必要があることから、単年度の計画としての「山口県教育推進の手引き」を作成しています。

- (2) 次の省庁に関する文の（ ）に入る適切な語句を答えよ。

2021年9月のデジタル庁以来の省庁設置となる（ ）は厚生労働省や内閣府に分かれていた保育や貧困対策などの担当部署が移管され、2023年4月に発足した。

- (3) 次の人口に関する文の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。

令和3年の日本の出生数は（ ）万1622人で、前年より2万9213人減少し、明治32年の人口動態調査開始以来最少となった。出生率（人口千対）は6.6で前年の6.8より低下し、合計特殊出生率は1.30で前年の1.33より低下した。（令和3年（2021）人口動態統計（確定数）の概況、厚生労働省より）

|    |      |      |       |       |
|----|------|------|-------|-------|
| 語群 | ア 81 | イ 21 | ウ 151 | エ 201 |
|----|------|------|-------|-------|

- (4) 次の文は、文部科学大臣の下、とりまとめられたプランの概要の抜粋である。（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。

不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える

2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する

3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

ことにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するための（ ）プランを、文部科学大臣の下、とりまとめた。

|    |       |             |          |         |
|----|-------|-------------|----------|---------|
| 語群 | 1 ライフ | 2 子ども・子育て応援 | 3 COCOLO | 4 アクション |
|----|-------|-------------|----------|---------|

- (5) 次の文化庁に関する文の（ ）に入る適切な都市名を答えよ。

芸術文化の振興、文化財の保存・活用、国際文化交流の振興等を使命とする文化庁は、外交や国会対応、関係省庁との調整や政策企画立案などの業務についても現在と同等以上の機能とすることを前提とし、（ ）に移転を行った。

- (6) 次の環境に関する文の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。

「食品ロス」についてのFAO（国際連合食糧農業機関）の報告書によると、世界では食料生産量の（ ）に当たる約13億トンの食料が毎年廃棄されている。日本でも1年間に約612万トン（2017年度推計値）もの食料が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量で、日本人1人当たり、お茶碗1杯分のごはんの量が毎日捨てられている計算になる。

|    |        |         |         |          |
|----|--------|---------|---------|----------|
| 語群 | ア 3分の1 | イ 10分の1 | ウ 50分の1 | エ 100分の1 |
|----|--------|---------|---------|----------|

|    |  |    |  |    |  |    |  |
|----|--|----|--|----|--|----|--|
| 校種 |  | 教科 |  | 番号 |  | 氏名 |  |
|----|--|----|--|----|--|----|--|

○

○

○

○

|                      |      |    |     |
|----------------------|------|----|-----|
| 令和6年度教員採用候補者選考試験解答用紙 | 教職専門 | 得点 | 50点 |
|----------------------|------|----|-----|

|   |     |       |      |        |     |     |     |     |        |   |
|---|-----|-------|------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|---|
| 1 | (1) | 良心    | (2)  | 1      | (3) | 4   | (4) | 4   |        |   |
| 2 | (1) | 4     | (2)  | 3      | (3) | 職務上 | (4) | 3   |        |   |
| 3 | (1) | フレーベル | (2)  | ア      | 3   | イ   | 1   | ウ   | 4      |   |
|   | (3) | ア     | 4    | イ      | 2   | ウ   | 3   | (4) | ヴィゴツキー |   |
| 4 | (1) | ア     | 苦痛   | イ      | 2   | (2) | ア   | 4   | イ      | 1 |
|   | (3) | ア     | 学校給食 | イ      | 2   | (4) | ア   | 4   | イ      | 1 |
| 5 | (1) | ア     | 2    | イ      | 3   |     |     |     |        |   |
|   | (2) | ア     | 3    | イ      | 4   | (3) | 1   |     |        |   |
| 6 | (1) | 4     | (2)  | 尊重     | (3) | 2   |     |     |        |   |
| 7 | (1) | 福祉    | (2)  | 2      |     |     |     |     |        |   |
| 8 | (1) | たくましい | (2)  | こども家庭庁 | (3) | ア   | (4) | 3   |        |   |
|   | (5) | 京都    | (6)  | ア      |     |     |     |     |        |   |